



再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道8号 <small>か が</small> 加賀拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：石川県加賀市箱宮町 至：石川県加賀市黒瀬町			延長	6.4 km	
事業概要	一般国道8号加賀拡幅は、「交通渋滞の緩和」「沿道の賑わい創出」「快適な歩行者・自転車空間の確保」などを目的とした延長6.4kmの現道拡幅事業である。					
H 15 年度事業化	H 14 年度都市計画決定	H 16 年度用地着手		H 19 年度工事着手		
全体事業費	320 億円		事業進捗率	42 %	供用済延長	2.0km(部分4車線)
計画交通量	26,500~33,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成22年		
	1.8	178 / 319 億円	563 / 563 億円			
	(残事業)	事業費：147 / 289 億円 維持管理費：30 / 30 億円	走行時間短縮便益：539 / 539 億円 走行経費減少便益：21 / 21 億円 交通事故減少便益：2.8 / 2.8 億円			
	3.2					
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.8（交通量+10%） B/C=2.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.9（事業費+10%） B/C=3.5（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=3.1（事業期間+20%） B/C=3.3（事業期間-20%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ①主要観光地の連携向上 <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光施設へのアクセス性向上 ②地域の活性化への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・PIを契機に設立した「みちづくり・まちづくり推進協議会」を支援 ③医療施設へのアクセス性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院である小松市民病院へのアクセス時間の短縮 ④防災機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いネットワークの形成 ⑤地域連携プロジェクトの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県の「県土ダブルラダー 結いの道」整備構想を支援 ⑥冬期における円滑な交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間における走行性の向上 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県新長期構想においては「個性、交流、安心のふるさとづくり」を目指しており、近年の少子高齢化の中、地域活性化を図るためには、交流人口の更なる増加を図っていくことが重要であり、さらに、安全・安心な生活を送るためには、災害発生時の緊急輸送道路の確保なども必要である。このためにも、引き続き、国と地方が適切な役割分担のもと、最も基礎的な社会基盤である道路の整備を進めていくことが不可欠であると加賀地区開発協議会より要望を受けている。 					
県知事の意見	<p>県知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道8号は石川県の大動脈であり、本区間は加賀地域の物流促進や観光産業の振興を図る上で、極めて重要な区間である。 ・このため、国道8号ではこれまで金沢西バイパスや南郷拡幅などで順次4車線化が進められてきている。 ・本区間については、4車線区間に挟まれた2車線区間であるため、慢性的な交通混雑や多くの交通事故が発生しており、加賀地域全体の交通の円滑化を図る上でも、早期整備が必要である。 ・また、県では、平成26年度末の北陸新幹線開業を見据え、開業効果を県下全域に波及させるために、幹線道路の整備に取り組んでいるところであり、国道8号加賀拡幅については、引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。 					
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、再評価及び対応方針（原案）の「事業継続」は妥当である。</p>					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
交通量の増大により、交通混雑が生じている。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
事業の進捗状況：平成22年度末(予定)で事業費134億円、進捗率42%、そのうち用地補償費は90億円で進捗率45%。	
残事業の内容：現道2車線区間L=4.4kmの4車線化整備。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
今後、渋滞交差点及び事故危険箇所が連続する同市加茂町～黒瀬町間において、用地買収及び工事を推進するとともに、同市松山町～加茂町間の用地調査を推進する。	
施設の構造や工法の変更等	
残事業の施工において、自歩道部の舗装構成の見直し及び橋梁形式・基礎構造の検討によりコスト低減を図る。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	
	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。